

川崎市(神奈川県)の一体的実施

平成25年4月1日事業開始

川崎市幸区及び宮前区において国との一体的取組み(就労・自立支援サポート)を実施

市

生活保護受給者等への
生活相談



国

生活保護受給者等への
就職支援

① 事業内容

市の福祉とハローワークの職業相談、職業紹介機能を一体化し、生活保護受給者、住宅支援給付受給者及び児童扶養手当受給者並びにその申請者及び相談者に対し生活相談から就職支援をワンストップにより実施する。

② 協定・事業計画

- ・川崎市長と神奈川労働局長との間で協定(※)を締結
- ・就職率等の数値目標を盛り込んだ事業計画を、川崎市と神奈川労働局との間で策定

※協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

事業の円滑な運営に資するために、川崎市職員、神奈川労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置

市と国(神奈川労働局)による新たな連携の枠組みとして、双方のノウハウを持ち寄り、就業支援を一体的に実施し、市民サービス及び利便性の向上を実現

(1) 実施体制

就労・自立サポート 幸・宮前

市の福祉事務所に隣接した場所に就労・自立支援サポート窓口を設置し、ハローワークの職業相談員、ハローワークシステム(求人情報提供、職業紹介システム)を配置。

支援対象者に対し、市の支援員による生活相談を経てハローワークによる就職支援につなげる。

福祉事務所(市)

- ・生活保護ケースワーカー、自立生活支援相談員による生活相談、就労指導

就労・自立支援サポート窓口

- ・職業相談員2名を配置
- ・職業紹介窓口端末2台、求人情報提供端末 2台を設置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

項目	目標値	実績(平成25年10月末現在)
窓口述べ利用者数	885人以上	1,257人
就職率	35%以上	43.2%

一体的実施事業による就職成功例

就労・自立サポート窓口

男性：67歳 生活保護受給中

① 本人のプロフィール

- ・中学卒業後、防水工、運転手、清掃等、職を転々としてきた。
- ・高齢ではあるが、就労意欲は高い。希望職種は、清掃。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・自治体の福祉事務所が行う生活相談の過程にて就労に対する意識の向上を図り、ハローワークの就労支援に誘導された。
- ・67歳と高齢であり、狭い職業選択種のなかで、自治体の支援員とハローワークの相談員が協働で就職支援を行った。面談の中で、頑固一途、責任感強い、人付き合いは苦手等、本人が抱える状況に対し、カウンセリングを重ね、ハローワークの求人の中から9件紹介し、マンション清掃の仕事にパート採用となった。

③ 結果

- ・B社（神奈川、従業員16人、ビルマンション管理業）
- ・パート、マンション清掃

就労・自立サポート窓口

女性：46歳 生活保護受給中、母子家庭

① 本人のプロフィール

- ・営業事務、DATA入力、設計作業補助等、派遣社員として、複数の仕事を経験。
- ・20年7月会社倒産により退職。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・自治体の福祉事務所が行う生活相談の過程にて就労に対する意識の向上を図り、ハローワークの就労支援に誘導された。
- ・働く意欲はあるものの、対人関係や電話応対に不安を抱えていた。ハローワークでは、面接トレーニングや、応募書類の作成方法など、コンサルティングを行いながら、ハローワークの求人情報の中から経験職種を主体に本人と相談しながら選択し、数回にわたる職業相談を繰り返し、数社に紹介した結果、紹介5件目で、正社員での採用となった。

③ 結果（正社員採用）

- ・A社：神奈川県内の電気工事業、従業員70人
- ・職種：パソコンDATA入力・CAD処理